

## 目 次

1章 総則	1
1.1 適用の範囲	1
1.2 引用規格	2
1.3 用語の定義	2
1.4 検査技術者	3
2章 検査機器	4
2.1 超音波自動探傷装置	4
2.1.1 必要な機能	4
2.1.2 保証方法	4
2.2 超音波自動探傷装置を構成する機器およびプログラムソフトウェア	5
2.2.1 超音波探傷器	5
2.2.2 探触子	6
2.2.3 走査装置	7
2.2.4 画像表示装置	7
2.2.5 搭載されたプログラムソフトウェア類	7
3章 実証試験	10
3.1 一般	10
3.2 保証方法	11
4章 検査要領	12
4.1 検査要領書の作成	12
4.2 検査の実施	12
4.2.1 一般	12
4.2.2 検査に対する客観的証拠の提示方法	12
4.2.3 一定レベル以上の形状エコーが発生時した場合の検査要領	12
5章 判定	13
6章 報告	13